

平成 20 年度再評価対象事業一覧表

(事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
	<p>主要地方道 佐賀川副線 地方特定道路整備事業</p> <p>事業主体：県 事業地：佐賀市川副町南里</p>	<p>本路線は佐賀市を起点とし川副町市街を通り有明佐賀空港へ至る主要な道路で佐賀市内や国道44号へ向かう自動車交通量が多い。計画区間は、周辺に位置する小・中学校や佐賀市内の高校への通学路であるが、歩道が未整備で通勤通学時等は大変危険な状況となっている。そのため、自転車歩行者の交通安全確保を図るため自転車歩行者道を整備するものである。</p>	<p>全体事業費：29.0億円</p> <p>工期：H9～H22</p> <p>事業内容 延長 L=1,810m 幅員 W=15.0(6.5)m</p> <p>改良工 L=1,810m 舗装工 L=1,810m 测试 1式 用地補償 1式</p>	<p>H19末進捗率：約92% (事業費ベース)</p> <p>(年平均進捗率 8%)</p> <p>用地補償は9割完了</p>	<p>交通量の増減 [H6] 11,131台/日 [H9] 8,160台/日 [H11] 8,091台/日 [H17] 7,543台/日 歩行者 9人/日 自転車 379台/日</p> <p>有明佐賀空港が増便されたこと、有明海沿岸道路の大川西IC～大牟田IC間が供用されることにより、交通量の増大が予想される。</p>	<p>事業採択時と比較して、要因の大きな変化は見られない。</p> <p>交通安全事業(自歩道設置)であるためB/Cは算出ししない。</p>	<p>(コスト削減) ・再生資源の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。</p> <p>(代替案の検討) ・特になし</p>	<p>事業着手より10年が経過</p>	<p>継続 (理由) 歩道の未整備箇所が残っており、危険な状況が解消されていないため、事業を継続し交通の円滑化及び交通安全の確保を図る。</p>	

